

最上位目標 平和な社会(学校)の実現 ~つながりを通して、誰一人独りにしない~



上里北中学校
キャラクター

学校教育目標 **かしこく やさしく たくましく**

目指す学校像

一人一人が主人公となり、協働して学び、他者につながり合い、居心地の良い学校

1. 授業において他者につながり合い、「主体的、対話的で、深い学び」がある
2. 心理的安全性を高め、生徒自らの意思で挑戦し、自己肯定感を高めることができる
3. 誰一人独りにならず、居場所がある
4. 自治的な活動を尊重し、居心地のよい学校づくりができる

目指す生徒像

【自律】自ら考え、判断し、自己決定し、行動する

【協働】考え方の違いを理解し、尊重し、対話を通して、共に行動する

【創造】知識、情報、技術等を活用し、新たな価値を生み出す

目指す教師像

教える専門家から学びの専門家へ

1. 生徒の声に耳を傾け、共に考え、支援する
2. 生徒一人一人の学びを保証する授業をつくる
3. 日々の教育実践に最善を尽くす
4. 学び続け、同僚性を構築し合う
5. 生徒一人一人に寄り添い、徹底的にケアする
6. 生徒の失敗を受け入れ完璧な人間を演じない



学校経営の重点取組

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 学力向上の実現 | 不登校生徒の学びの保証 |
| 落ち着いた環境の構築 | お互いにききあう関係の構築 |
| 生徒の主体性の回復 | 生徒一人一人をしっかりと「見取る力」の習得 |
| 保護者・地域との連帯・協働 | |

「学校教育目標」の具現化

〈かしこく〉

主体的に学び、考え、行動する生徒



〈やさしく〉

心豊かで、相手を尊重し、思いやりのある生徒



〈たくましく〉

心身ともに健康で、課題解決に努める生徒



学校研究主題：心理的安全性を高める授業実践

～子どもたちや教師が一人残らず学び合う学校づくり～

教師と生徒

学び合い学習 「つなぐ・つながる」

生徒と生徒

重点項目

- (1) 学年・学級経営の充実
Hyper-QU の実施(年2回)
- (2) 学習指導の充実
指導者を招聘した
・全体研修会(学び合い年3回、道徳年3回)
・個別指導(学び合い年9回、国語年2回、学級活動年6回、特別支援教育年2回)
- (3) 生徒指導・教育相談の充実
重要ワード「リスタート」「つながり」
せせらぎルームの設置
- (4) 特別活動の充実
- (5) 特別支援教育の推進
- (6) 道徳教育の充実
教材資料・指導案の共有化
- (7) 人権教育の充実
人権感覚育成プログラムの活用
- (8) 健康・安全教育の推進
- (9) 給食・食育の推進
- (10) 環境・美化の推進
- (11) 福祉教育の推進
- (12) 危機管理体制の充実
迅速な初期対応
- (13) 教職員の事故防止
ボトムアップ型不祥事防止研修
- (14) 働き方改革

上里の子供たちを育てる合言葉

- あいさつ
- 返事
- くつそろえ
- 集中した清掃

